

発明の名称: 脂肪化抑制剤および脂肪関連疾患の予防  
又は治療に使用するための医薬組成物

利用・用途・応用分野

脂肪関連疾患(非アルコール性脂肪性肝疾患や糖尿病等代謝性疾患)の予防、治療

目的・課題

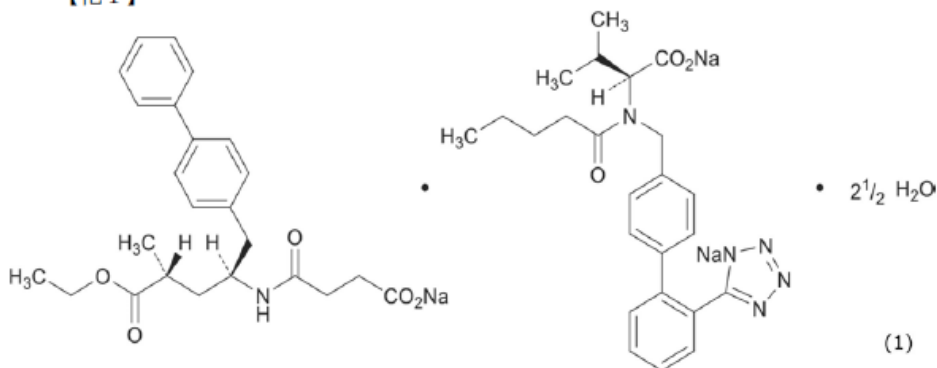
近年の生活習慣病の増加により、糖尿病などの代謝性疾患から、非アルコール性脂肪性肝疾患(MAFLD)などに至る患者が増加している。肝疾患を放置しておくと肝臓に至る危険性がある。肝線維化や脂肪沈着を抑制する治療薬の開発・探索が急務である。細胞における脂肪化を抑制することのできる脂肪化抑制剤を提供することを課題とする。

解決ポイント

- ◆特殊飼料(GAN)を投与して肝線維化・脂肪化モデル(MAFLDモデル)を作製し、種々の化合物による脂肪化への治療効果の基礎的検討を行った。
- ◆その結果、驚くべきことにアンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)が肝脂肪化モデルにおける脂肪化の抑制効果を示すことを見出した。

【下記式(1)で示される化合物を有効成分として含有する脂肪化抑制剤】

【化1】



研究概要・アピールポイント

- ◆本発明の脂肪化抑制剤およびそれを含む医薬組成物によれば、脂肪関連疾患の予防又は治療効果を奏することができる。
- ◆本発明の脂肪化抑制剤または医薬組成物は、未だ治療方法が確立していない非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)と糖尿病等代謝性疾患による新しい肝疾患(MAFLD)、さらにNASHによる肝硬変と肝発癌に対する早期治療・先制的治療方法の確立に寄与することができ、新規内服治療等、治療分野で使用される可能性がある。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp